

令和5年9月4日  
愛媛大学

## 第46回 放送県民大学「現代教養講座」受講者募集

豊かな教養と創造力を培っていただくため、放送県民大学「現代教養講座」を下記の県下3会場で開催します。会場ごとに計3回、テーマごとの映像と本学の教員による講義で、知識を深めていただきます。受講者を募集しておりますので、興味のある方は是非ご参加ください。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

### 記

#### 日時・講座内容・会場・募集人数【受講無料】

□中予会場（松山市）愛媛県生涯学習センター 開講時間 10：00～12：00 定員 各100名※		
10月 22日（日）	日本語の起源をめぐって	愛媛大学 名誉教授 清水 史
11月 19日（日）	映画音楽の歌詞を読み解く一文法に魅せられて	愛媛大学法文学部 教授 今泉 志奈子
12月 17日（日）	子規・漱石・伊予弁	愛媛大学 元客員教授 木藤 隆雄
□東予会場（新居浜市）愛媛県総合科学博物館 開講時間 13：30～15：30 定員 各60名※		
10月 1日（日）	古典作品からみた動物の鳴き声 —犬の鳴き声は「ワンワン」？猫の鳴き声は「ニャーニャー」？—	愛媛大学法文学部 教授 秋山 英治
11月 26日（日）	いまこそ、少子高齢化先進国に生きる私たちの力と知恵を未来づくりに —国連SDGsから未来の社会課題を理解する—	愛媛大学国際連携推進機構 教授 アジア・アフリカ交流センター長 小林 修
12月 10日（日）	展示づくりに学ぶ情報の可視化と共有	愛媛大学ミュージアム 准教授 徳田 明仁
□南予会場（西予市）愛媛県歴史文化博物館 開講時間 13：30～15：30 定員 各60名※		
9月 9日（土）	南予の文化や文学を身近に味わい、愛おしむためのヒント —卯之町の清水家や宇和島の太竹伸朗、吉田や八幡浜ゆかりの文学を中心に—	愛媛大学法教育学部 教授 青木 亮人
10月 14日（土）	『源氏物語』に見る紫式部の結婚観 ～作品に隠された3本の矢～	聖カタリナ学園高等学校 教諭 田中 千晶
12月 9日（土）	多文化社会で求められるコミュニケーション力とは	東京大学 名誉教授 向井 留実子

受講資格：原則として、愛媛県内に在住、もしくは勤務の方

申込方法：受講を希望される方は、住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号・希望会場をご記入の上、愛媛県生涯学習センターの窓口または郵送、FAX、メールでお申し込みください。

受講者の決定：受講できる場合は特にご連絡いたしません。

※定員に満たない講座は、開講日当日まで受け付けますのでお問い合わせください。

申込先：愛媛県生涯学習センター 〒791-1136 松山市上野町甲 650 番地

電話：(089) 963-2111 FAX：(089) 963-4526 Mail：top@i-manabi.jp

●やむを得ず日程・講師の変更や講座の中止を行う場合があります。

最新情報は愛媛県生涯学習センターのホームページ (<https://www.i-manabi.jp/>) をご確認ください。

※送付資料3枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先  
教育学生支援部 教育企画課 総務チーム  
担当 大福  
TEL 089-927-8973  
Mail：manabi@stu.ehime-u.ac.jp



学ぶ喜び、知る楽しさ。  
第46回放送県民大学

受講  
無料

# 現代教養講座

## 受講者募集中

愛媛大学をはじめとした先生方によるスクーリングと、その関連映像をご覧いただき、知識を深めていただけます。様々な分野に特化された先生方のお話を聞くことができます。

中予会場  
松山市



### 愛媛県 生涯学習センター

- 開講時間 / 10:00～12:00
- 定員 / 各100名

10/22 日

講義内容

日本語の起源をめぐって

講師

愛媛大学名誉教授 清水 史

11/19 日

講義内容

映画音楽の歌詞を読み解く  
一文法に魅せられて

講師

愛媛大学法文学部 教授 今泉 志奈子

12/17 日

講義内容

子規・漱石・伊予井

講師

愛媛大学元客員教授 木藤 隆雄

東予会場  
新居浜市



### 愛媛県 総合科学博物館

- 開講時間 / 13:30～15:30
- 定員 / 各60名

10/1 日

講義内容

古典作品からみた動物の鳴き声  
一犬の鳴き声は「ワンワン」？  
猫の鳴き声は「ニャーニャー」？

講師

愛媛大学法文学部 教授 秋山 英治

11/26 日

講義内容

いまこそ、少子高齢化先進国に生きる  
私たちの力と知恵を未来づくりに  
—国連SDGsから未来の社会課題を理解する—

講師

愛媛大学国際連携推進機構 教授  
アジア・アフリカ交流センター長 小林 修

12/10 日

講義内容

展示づくりに学ぶ  
情報の可視化と共有

講師

愛媛大学ミュージアム 准教授 徳田 明仁

南予会場  
西予市



### 愛媛県 歴史文化博物館

- 開講時間 / 13:30～15:30
- 定員 / 各60名

9/9 土

講義内容

南予の文化や文学を身近に味わい、  
愛おむためのヒント  
—卯之町の清水家や宇和島の大竹伸朗、  
吉田や八幡浜ゆかりの文学を中心に—

講師

愛媛大学教育学部 教授 青木 亮人

10/14 土

講義内容

『源氏物語』に見る紫式部の結婚観  
～作品に隠された3本の矢～

講師

聖カタリナ学園高等学校 教諭 田中 千晶

12/9 土

講義内容

多文化社会で求められる  
コミュニケーション力とは

講師

東京大学名誉教授 向井 留実子

※やむを得ず日程・講師の変更や講座の中止を行う場合がございます。最新情報はホームページ (<https://www.i-manabi.jp/>) をご確認ください。

主催：愛媛県生涯学習センター、愛媛大学

後援：愛媛新聞社、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

## 愛媛県 生涯学習センター

中予会場  
松山市



**清水 史**  
(しみず ふみと)

神奈川県出身。愛媛大学名誉教授、愛媛大学特命アンバサダー(元国際担当副学長)。専攻は言語学・日本語学。日中音韻学交渉史及び愛媛の方言を研究。

悠久の昔から日本列島に語り継がれてきた日本語ですが、そのルーツは一体どこにあるのでしょうか。日本語の起源といえば、なにかロマンを感じたりしますが、この問題は一筋縄ではなかなか解決できるものではありません。今回は、この難題に取り組んだ内外の先人たちの研究を紹介するとともに、壮大な学際的研究によって次第にそのペールがはがされつつある現状を、最新の研究成果を踏まえて紹介したいと思います。



**今泉 志奈子**  
(いまいずみ しなこ)

兵庫県出身。愛媛大学学長特別補佐、国際連携推進機構副機構長、法文学部教授。専門は英語学・言語学。翻訳家として、訳詞や映画字幕なども手掛ける。

「英文法」というと暗記がタイヘンだったといった印象を持たれがちで、華やかなイメージの「英会話」とは対照的です。ところが少し違った角度から光を当ててみると英文法の魅力がキラキラ輝きはじめます。「文法」は「魔法のことば」という語源を持っているぐらい、人を魅惑するような不思議な力をもっているのです。美しい映画音楽、懐かしいポップスの英語詞を楽しく読み解きつつ、文法の魅力を体感していただきたいと思います。



**木藤 隆雄**  
(きとう たかお)

愛媛県出身。愛媛大学元客員教授。ニッポン放送アナウンサーを経てフリー。現在、愛媛朝日テレビのニュースコメンテーターの他、川柳番組にも出演。滑稽俳句協会会員。

愛媛を舞台にした映画に出演した森繁久彌氏は、「あちこちの言葉で芝居をやってきたが、伊予弁ちゆうのはなかなかテンポが取れません」と述べています。名優も苦労した個性的な伊予弁を漱石は効果的に取り込み、「坊っちゃん」を更に面白い作品にしました。漱石が松山で暮らした1年間は、子規との52日間の同居を含め爽り多いものでした。子規と漱石の人生を振り返ると同時に、愛媛のある地域に残る古い伊予弁のご紹介もしたいと思います。

○**受講資格**／原則として、県内に在住、もしくは勤務の方。

○**受講料**／無料

○**申込方法**／受講を希望される方は、住所・氏名・年齢・電話番号・希望会場をご記入のうえ、窓口または郵送、FAX、メールでお申込みください。

※先着順(定員になり次第、受付を終了いたします)

※定員に満たない講座は、開講当日まで受け付けますので、お問い合わせください。

※Webからのお申込みをご希望の方は生涯学習センターホームページ(<https://www.i-manabi.jp/>)、

『令和5年度コミュニティ・カレッジ』の申込みフォームよりお申込みください。

○**受講の決定**／受講できる場合は、特にご連絡いたしません。講座当日会場へお越しください。

## 愛媛県 総合科学博物館

東予会場  
新居浜市



**秋山 英治**  
(あきやま えいじ)

愛媛県出身。愛媛大学法文学部教授。専攻は日本語学。特に愛媛県を中心に、中四国地方の方言アクセントを研究。

現代では、犬の鳴き声は「ワンワン」、猫の鳴き声は「ニャーニャー」(「ニャンニャン」)のように聞いています。古代においても、現代と同じように、犬の鳴き声は「ワンワン」、猫の鳴き声は「ニャーニャー」と聞いていたのでしょうか。犬と猫を中心に、動物の鳴き声が古典作品のなかでどのように描かれているのか、考えてみたいと思います。



**小林 修**  
(こばやし おさむ)

千葉県出身。愛媛大学国際連携推進機構教授。アジア・アフリカ交流センター・センター長、愛媛大学SDGs推進室副室長。専門は、グローバルな視点を活かし、地域の課題解決につながるSDGs貢献人材を育成するための教材・プログラム開発。

「衰退途上国」日本・近年、少子高齢化、過去30年間、経済成長率が低迷し、給料も上がらないままの日本を指す用語として、たびたび報道に登場します。しかし、現在の日本を指して「衰退途上」にあるという見立ては、かつて「ジャパン・アズ・ナンバーワン」だったころに、現役時代を謳歌した世代の偏った見方が生んだノスタルジックな悲観論かもしれません。SDGsに示されているグローバル課題をひとつとくと、日本の課題は多くの先進国そして遅かれ早かれ新興国にも降りかかる共通の課題であることに気づくことができます。SDGsの課題解決には、これまでにない新しい暮らしを生み出すことが必要です。本講座ではSDGsの先に見る未来を実現する方策について、皆さんとじっくり考えます。



**徳田 明仁**  
(とくだ あきひと)

愛媛県出身。愛媛大学ミュージアム准教授。大阪大学総合芸術博物館招聘准教授。専門はデザイン学。展示デザインによる見え方・見せ方、情報の伝達について研究。

展示づくりはたくさんの方を教えてください。専門である展示デザインは、取り扱う情報(もの・こと・現象)にもその研究者にも耳を傾け、確認を繰り返す中でうまれるメッセージを発見し、その全てを出来る限り分かり易く社会全般に伝える・示す行為といえます。これまで手がけた展示づくりを通じて情報の可視化について一緒に考えて行きたいと思えます。

## 愛媛県 歴史文化博物館

南予会場  
西予市



**青木 亮人**  
(あおき まこと)

北海道出身。同志社大学、同大学院修了。博士号(国文学)。専門は近現代俳句。現在、愛媛大学教授。著書に『愛媛 文学の面影』東予編・中予編・南予編等。

南予には豊饒な文化があります。例えば、卯之町の清水家と同志社の関係、宇和島在住の大竹伸朗氏が描く覗き岩遊園地、吉田を描く吉村昭の小説等、枚挙に暇がありません。これらを高尚な文化として学ぶというより、日々の生活の中でこういった南予文化とともに暮らし、身近に感じることで、私たちの見慣れた町並みや昔の何気ない体験こそ「文化」だったことに気付く愉しみを皆さんとともに考えていきたいと思います。



**田中 千晶**  
(たなか ちあき)

愛媛県出身。聖カタリナ学園高等学校教諭。専攻は日本語学。方言話者の意識と日本語教授法を研究。

華やかな貴族文化が開いた平安時代に成立したのが『源氏物語』。稀代のモテ男「光源氏」が女性たちと織りなす恋模様は、現代の我々も魅了され、多くの人に愛されている作品です。しかし、作者の視点で考えてみると、当時の女性が抱えていた不満もアイロニカルに表現されています。現代を生きる私たちにも共感できる形で、紫式部の恋愛観や結婚観を読み解きながら、作品に込められた「三本の矢」をご紹介していきたいと思います。



**向井 留実子**  
(むかい るみこ)

ルーツは愛媛県。愛媛大学非常勤講師。専門は日本語教育学で、主たる研究対象は、留学生や地域の生活者に対する日本語教育、日本語教師・学習支援者の育成。

少子高齢化が進み、労働者不足が深刻化する日本は、外国人によって産業の基盤が支えられています。もはや外国人は遠い存在ではなく、共に日本社会を作っていく「仲間」となってきたのです。この講座では、急速に多文化化の進む日本社会の実態を踏まえながら、背景の異なる外国人と力を含わせて目指す社会を実現していくためには、どのように日本語でコミュニケーションしていけばよいのかを考えます。

会場	お申込み・お問い合わせ先
<b>愛媛県生涯学習センター</b> (松山市) 所在地:愛媛県松山市上野町甲650番地	<b>愛媛県生涯学習センター</b> 〒791-1136 愛媛県松山市上野町甲650番地 TEL(089)963-2111 FAX(089)963-4526 Eメール top@i-manabi.jp ホームページ <a href="https://www.i-manabi.jp/">https://www.i-manabi.jp/</a>
<b>愛媛県総合科学博物館</b> (新居浜市) 所在地:愛媛県新居浜市大生院2133-2	
<b>愛媛県歴史文化博物館</b> (西予市) 所在地:愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2	